

事業計画書

事業名	再編出版するぬまづ昔ばなしの活用による豊かな地域づくり
実施場所	沼津市全域
実施予定期間	※イベントや研修会等の当日だけでなく、準備期間・実績の取りまとめ期間等も含めて記載して下さい。 2022年8月1日～2023年3月31日

◎事業概要

※事業の概要を100～200字で簡潔に記載して下さい（事業の紹介などで使用します）。

この8月より再編出版していく予定の「ぬまづ昔ばなし」の活用を図る事業です。

- ・ 物語舞台の掘り下げと、今を伝える情報の取材
- ・ 新たな地域の昔ばなしや戦争体験およびその語り部の発掘・整理
- ・ 地域・地区独自の活動やイベントの発掘・整理
- ・ 観光ボランティアと連携したガイドの制作
- ・ 読み聞かせ動画の制作

などを行います。事業の成果物はウェブページに掲載します。

◎目的

※何を目的として実施する事業であるか（事業を行うきっかけ（地域の問題点や課題、社会背景など）や、課題解決のためにどんなことが必要と考えるか）を記載して下さい。

1. 目的

ぬまづ昔ばなしの活用による青少年の健全育成、地域のつながり強化、シビックプライドの醸成を目的とする事業です。

2. きっかけ（地域の問題点や課題、社会背景など）

沼津には多くの民話・伝説・史話がありますが市民が接する機会が少なく、知られていない・埋もれてしまった話が少なくないと考えています。その一つが、半世紀前に「ぬまづ社会科研究会（市立小中学校の先生方を中心にした組織）」が刊行した「ぬまづ昔ばなし 第一集・第二集」です。

私達が独自に行った地域や児童生徒への聞き取り調査では、せっかく存在する地域の昔ばなしが市民にあまり知られていない状況が感じられ、残念に思っています。また、地域の方々より「沼津には何もない」といった悲しい言葉を聞くことも少なくありません。地域の昔ばなしが知られずにいること＝郷土の魅力が埋もれていることは、郷土への愛着が薄らぐ要因の一つと感じています。

3. 課題解決のためにどんなことが必要と考えるか

私達が考える地域課題は、沼津に存在する自慢できる民話・伝説・史話が十分に知られていないこと。それが「沼津には何もない」と言わしめる状況を生み出すきっかけになっていること。更には、そうした状況が郷土への愛着を薄れさせる一要因になってしまっていることです。

こうした問題意識のもとで2021年8月に当団体を発足し、「ぬまづ昔ばなし 第一集・第二集」を再編出版する事業を開始しました。2022年度以降の約10年間、毎年3～4冊を刊行する

計画であり、2022年度は8月に初刊、11月に第2刊、2月に第3刊を刊行する予定です。

刊行した紙書籍は沼津市立小中学校の学校図書館等に数冊ずつ無償配布します。また、小中学校に一人一台端末が整備されている状況を踏まえ、パソコン・タブレット等の端末から閲覧できるようにします。具体的には、新たに立ち上げる「ぬまづ絵物語ウェブページ」にデジタル書籍を公開し、学校関係者に限らず、誰もが自由に無償で閲覧できる形で運用します。

書籍の刊行により青少年の健全育成や地域のつながり強化、シビックプライドの醸成を目指していますが、その目的を達成するためには書籍を刊行するに留めず多方面で活用していくことが重要と考えております。

◎実施内容

日 程	実施項目・作業項目				
	※イベントや研修会等の行事日程だけでなく、実施内容(打合せ・会議・資料作成・参加者募集・準備・検討会)、実施場所、参加対象、人員配置、役割分担など、事業期間すべてにわたる実施内容を記載して下さい。				
	活用① 情報掘り下げ	本誌では伝えきれない物語の舞台となる地域の情報を掘り下げて取材し、WEB公開			
	活用② 語り部アーカイブ	地域の昔ばなしや戦争体験およびその語り部の発掘・整理、地域・地区独自の活動やイベントの発掘・整理			
	活用③ 観光ボラ連携	観光ボランティア様と共にぬまづ昔ばなしをもとにしたガイドを作成			
	活用④ 動画	読み聞かせ動画の制作			
	スケジュール				
		項目			
	(参考) 刊行	活用① 情報掘り下げ	活用② 語り部 聞き取り調査	活用③ 観光ボラ連携	活用④ 動画
2022年 8月	第1巻 天狗のすもう 刊行	第1巻編集会議 ライターMTG 現地取材 原稿制作 校正 ウェブページ に公開	調査・整理	ウォーキング 企画検討	第1巻 読み聞かせ映像 MTG
9月				ボランティア ガイドさんとの 協議 MTG	第1巻 録音・編集 公開
10月					
11月	第2巻 いちょう観音 刊行			第2巻編集会議 ライターMTG 現地取材 原稿制作 校正 ウェブページ に公開	
12月					第2巻 録音・編集 公開
2023年 1月					
2月	第3巻 千本松原 刊行	第3巻編集会議 ライターMTG 現地取材 原稿制作 校正 ウェブページ に公開		試行 振り返り	第3巻 読み聞かせ映像 MTG
3月					第3巻 録音・編集 公開

◎事業効果

※事業の実施により、期待される効果を記載して下さい。

子どもたちが自分たちの街をもっと知り、もっと楽しみ、好奇心が生まれ、書籍を通じた地域の繋がりが強化され、地域の魅力が向上するものと考えています。また、子どもたちやその保護者・地域の方々・企業などを巻き込みながら書籍を作り上げて活用することで、市民全体でシビックプライドを高め、郷土を守り・育む市民をじわじわと増やし、将来的には、まちづくり・地域づくりに積極的に関わる“人づくり”にも繋がるものと考えています。

項目	期待される効果
活用① 情報掘り下げ	子どもから大人まで、自身が住む故郷の魅力を再認識していただき、現地に足を運びたいくなる気持ちを生みだす。
活用② 語り部聞き取り調査	後世に残してゆきたい地域の昔ばなしや戦争体験、書籍の発行時点で行われている地域・地区独自の活動やイベントを残し、その記憶を繋げていくことができる。
活用③ 観光ボラ連携	ぬまづ昔ばなしをもとに作成したガイドを観光ボランティア様にお使いいただくことで、よりわかりやすく充実したガイドが行え、参加した方々の楽しみや理解が深まる。
活用④ 動画	幼少のお子さんや、字を読むことが困難な方、動画のほうが親しみやすい方にも楽しめる媒体として制作することでぬまづ昔ばなしの読者を増やすことが出来る。

成果指標	※事業効果を客観的に評価できるよう、具体的な数値等を用いて成果指標を設定して下さい。 ・ライター記事 2本 ・語り部 10人 ・ウォーキングガイド資料 10p ・動画 3本	指標の 検証方法	※左記指標の検証方法を記載して下さい。 それぞれの実績値により検証。
------	--	-------------	---------------------------------------

◎評価の視点に合致していることの説明 ※評価の視点については、募集の手引きを必ず確認して下さい。

公益性 ・ 必要性	※公益性：地域のまちづくりの推進に如何に寄与できるのか、不特定多数の市民の利益にどうつながるのか等について記載して下さい。 ※必要性：事業を実施する意義や、本ファンドによる助成が有益で質の高い事業展開につながる理由を記載して下さい。 事業の目的は青少年の健全育成、地域のつながり強化、シビックプライドの醸成であり、公益性・必要性があるものと考えています。事業実施により地元愛溢れる子どもたちが増え、市民全体のシビックプライドが高まることで、郷土を守り・育もうとする前向きな行動にも繋がるものと考えています。
-----------------	---

<p style="text-align: center;">地域性</p>	<p>※地域の実状と課題をどう捉え、事業を行うことによってどのように課題を解決するのか、また、地域の特性や地域資源をどのように活かしたか、などについて記載して下さい。</p> <p>沼津に存在する自慢できる民話・伝説・史話が十分に知られていないことが「沼津には何もない」と言わしめる状況を生み出し、郷土への愛着を薄れさせる一要因になってしまっていると考えています。再編出版した「ぬまづ昔ばなし」を活用することはシビックプライドの醸成に繋がり、こうした地域課題の解決に繋がるものと考えています。</p>
<p style="text-align: center;">先導性</p>	<p>※事業の新規性や独自性など、新たにチャレンジする点、工夫した点などについて記載して下さい。</p> <p>特別な工夫ではありませんが、多くの方々による賛同と協力を得ながら、書籍を作り上げ・活用していきたいと願いながら、関係各所に直接足を運び、私たちの想いを真っすぐに訴えかけています。そうした思いが通じているのか、ありがたいことに、沼津市・沼津市教育委員会・沼津市校長会・学校現場・自治会連合会・沼津観光協会など、多くの方々からの協力や連携をいただくことができています。</p>
<p style="text-align: center;">発展性 ・ 継続性</p>	<p>※発展性：活動の広がりや波及効果がどのくらい見込め、地域の発展・活性化につながるのか記載して下さい。 ※継続性：本ファンドによる助成終了後も継続的・自立的な活動とするために、事業実施体制や活動資金の確保などについて取り組んでいくのかについて記載して下さい。</p> <p>書籍の刊行と活用を通じて、地域の企業団体・個人相互の繋がりが生まれ、地域の発展・活性化にも寄与できればと考えています。また、活動を通じて、支援・協力の輪を広げ、継続的に事業を実施できる活動資金（協賛金）の確保をしてきます。</p> <p>将来的には、沼津という自慢のコンテンツを市外・県外・国外の方々に胸を張って紹介できる市民が増えることや、我が町への誇りや愛着を胸に、自らもまちづくりや地域づくりに積極的に参画する市民が増えていくことも期待しています。</p>
<p style="text-align: center;">実現性 ・ 妥当性</p>	<p>※実現性：事業目的と事業内容は合致しているか、実現のために事業内容、予算の積算、自己資金の準備、スケジュール等について工夫した点を記載して下さい。 ※妥当性：各種法令順守、関係者との調整状況、費用に対する事業効果の妥当性について記載して下さい。</p> <p>2021年度より取り掛かり 2022年度より本格始動している事業ですので、事業について知っていただくための周知活動や関係各所との繋がりづくりに鋭意取り組んでいます。この8月に予定している第1刊の刊行により、地域の方々による認知の度合いを高めることができると考えております。引き続き、周知活動や繋がりづくり、賛同者を募集する活動をしながら、多くの方々に読まれ、活用いただける書籍となるよう取り組みます。</p>
<p style="text-align: center;">活動に対する 熱意</p>	<p>※活動の動機、活動に対する意欲・熱意について記載して下さい。</p> <p>まちづくりファンドに採択いただければ、書籍を活用する取り組みを、より充実・加速させることができると考えております。生まれ・育ち・暮らしている故郷ぬまづへの恩返しができるよう、誠心誠意取り組みます。</p>

◎次年度以降の活動予定

※ソフト部門（ステップアップ型）新規または2回目の応募で、助成の継続（最大3年まで）を希望する場合は、今後の活動予定と事業継続のための戦略について記載して下さい（今回の応募が次年度以降の助成を約束するものではありません）。

既存の活動を継続しつつ充実していきます。新たな取り組みも始めていければと考えています。

継続と充実

- ①情報掘り下げ…物語舞台だけでなく、もっとそこへ行きたくなる周辺施設情報の掘り下げ。
- ②語り部アーカイブ … より多くの方への聞き込み。効率化。
- ③観光ボラ連携 … 試行を繰り返した企画を本格始動。
- ④動画 … 読み手を一般市民や市内中・高校生演劇部の声掛け、参加。

新たな取り組み

- ・紙芝居 … 読み聞かせの紙芝居を制作。読み聞かせボランティア等で活用いただく。
- ・多言語化 … 英語教材にも使用出来るように。
- ・ワークショップ … 紙芝居講座。読み聞かせ動画講座。
- ・コミュニティ … 地域学習への協力。